

平成 23 年度第 1 回成田市総合計画審議会会議録

1 開催日時

平成 23 年 11 月 24 (木) 午後 1 時 30 分～2 時 50 分

2 開催場所

成田市花崎町 760 番地

成田市役所 議会棟 3 階 執行部控室

3 出席者

(委員)

谷会長、櫻井副会長、高木委員、渡邊委員、伊藤委員、新井委員、小梶委員
清水委員、菅谷委員

(事務局)

企画政策部 大山部長

企画政策課 成毛課長、神山主幹、伊藤副主幹、金光主査、成毛主任主事

4 議事 (要旨)

総合計画審議会委員の委嘱後、初の会議であることから、設置要綱の規定により会長に谷委員、副会長に桜井委員を選出した。

なお、議事については次のとおり。

(1) 総合 5 か年計画'06 の進捗結果について

「総合 5 か年計画'06」の進捗結果について、概要を説明した。

5 質疑等

□観光循環バスが廃止されると聞いているが状況はどうか。

→観光循環バスについては、バスの運行自体による観光PR効果もあるが、利用者数が極端に少ない状況である。行政評価において、バス運行委託契約が本年度で終了すること、さらに、事業目的と費用対効果を考慮するなかで、廃止すべきと評価された。本年度で廃止する方向で検討している。

□観光客を街中へ誘導する効果があることから、バスの小型化、運行ルートの変更など、改善を図って継続すべきではないか。これは要望。

□「達成後のすがた」のなかで、観光イベント実施回数が目標を下回っているが。

→観光イベントについては、計画がスタートした時点から着実に増加しているものの、受け入れ側との調整もあることから、目標までは届かなかった。今後、外国人向けのイベントなども含め、関係機関と調整していく。

□大正琴の演奏を観光館で実施したが、大変好評だった。参道でのイベントとして、また実施したいと考えている。

□男女共同参画センターとはどのようなものか。

→現在、女性のための相談とDV相談を庁内で実施しているが、この相談業務のほか、女性の活動支援、活動の場の提供など、男女共同参画の拠点を想定している。

□駅前再開発ビルに設置するなどの考えはないか。

□女性会館のようなハコモノは不要ではないか。場所は公民館や文化会館などを活用できるし、企画政策課で事業を実施するメリットもある。

→男女共同参画センターの設置については、男女共同参画計画推進懇話会の議論、市民の意向も踏まえて検討する。

□駅前再開発ビルに何故マンションなのか。

→マンションありきで再開発事業を推進しているわけではなく、建設業務代行者を公募したなかで企業側からの提案を受け、最終的には市が選定したものである。従前地権者の生活を確保しながら、約3,000㎡の駅前広場を6,000㎡以上に整備するなど、新たな公共用地を生み出す再開発事業として推進していくために必要である。

□近隣の賃貸マンション経営に影響を与えると不安を感じている市民もいることから、説明を丁寧に実施してほしい。

→所管部署に伝達する。

□川越に比べて、成田の観光はイベントに頼りすぎているのではないか。街並みの統一感など、地域の工夫が必要である。

→駅から新勝寺にかけての参道エリアは、沿線の街づくり協議会において、自主的な取り組みが実践されており、参道のセットバックにも協力いただいている。

□合併してから、市街地周辺だけが発展し、下総地区や大栄地区がさびれている。都市計画のあり方を考えるべきではないか。

→市全体では人口が増加しているが、市街地は過密化し、周辺は過疎化している状況もある。地域の特性を活かした産業基盤の整備、生活基盤の整備を進め、均衡ある発展に努めたい。土地利用の方針、都市計画についても検討していく。

6 傍聴

3人

7 次回開催日時(予定)

未定